

2024年 4月 17日

鹿児島大学病院で放射線治療を

を受けた患者さんへ

(生命科学・医学系研究に関する情報)

当院では、以下の生命科学・医学系研究を実施しております。生命科学・医学系研究とは、従来の臨床研究、疫学研究、ヒトゲノム・遺伝子解析研究を含み、人を対象として国民の健康の保持増進、患者さんの傷病からの回復、生活の質の向上に資する知識を得る等を目的とする研究のことです。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

即時適応放射線治療を受けた子宮頸がん患者の急性有害事象に関する研究

【研究の目的】

適応放射線治療を受ける子宮頸がん患者の治療中の合併症（急性有害事象）について検討し、適切な看護介入について明らかにすることを目的とします。即時適応放射線治療における、合併症（急性有害事象）の検討をすることにより、治療期間中の放射線看護に役立てたいと考えます。

【研究の方法】

研究対象：2018年5月1日～2023年12月28日に鹿児島大学病院の放射線治療室で放射線治療を受けた子宮頸がんの患者

- 1) 患者情報（診療カルテ・放射線情報システムからの調査）
- 2) 治療機器別の急性有害事象の頻度・程度を解析する。

【研究期間】

研究実施許可日 ～ 2026年3月31日

【対象となる患者さん】

2018年5月1日から2023年12月28日までに、鹿児島大学病院婦人科で子宮頸がんと診断され、放射線治療を受けた患者さんを対象にしています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

診療録から以下の情報を利用します。

年齢、子宮頸がん病期、既往、手術歴、薬物療法（内服薬、化学療法）、身長、体重、採血データ、栄養状態、パフォーマンスステータス、放射線治療内容、排便回数、悪心、膀胱炎、皮膚炎、看護記録などの情報を収集します。

【研究組織】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 鹿児島大学病院 RI・放射線部

研究責任者 看護部・看護師 土橋仁美

【本研究全体の研究代表者】

鹿児島大学病院 看護部 看護師 土橋仁美

【試料・情報の管理責任者】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科長 橋口 照人

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や生年月日など、患者さんを直接特定できる個人情報を特定の個人を識別することができないように加工します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番 1 号

鹿児島大学病院 RI・放射線部

看護部・看護師 土橋仁美

電話 099-275-5690 FAX 099-275-5690